DX推進の取り組み

株式会社NTTデータビジネスシステムズ

© 2026 NTT DATA BUSINESS SYSTEMS Corporation

代表メッセージ

代表取締役社長
福西 克文

生成AIをはじめとするデジタル技術の進展により、お客様を取り巻く事業環境は大きく変化しています。当社は、この変化を成長の機会と捉え、自らを変革する「Of-DX」と、お客様への価値創造を加速する「By-DX」を両輪としてDXを推進しています。

業務や組織の変革を通じて生産性と付加価値の向上を図るとともに、その成果を活かし、お客様の変革と持続的な成長に貢献してまいります。

また、社員一人ひとりの知見や経験を組織の資産として活用し、人とAIが協働する新しい働き方を実践することで、当社ならではの競争力を高め、新たな価値創造に挑戦していきます。

私たちは、長年培ってきた品質力と技術力を礎に、お客様とともに未来を創り、社会に新たな価値を提供し続けてまいります。

2026．7．31

© 2026 NTT DATA BUSINESS SYSTEMS Corporation

デジタルイノベーション推進部長メッセージ

生成AIをはじめとするデジタル技術は、この数年でかつてない速度で進化を続けており、お客様を取り巻くビジネス環境もまた、日々大きく変化しています。もはや従来のシステムやプロセスの延長線上では、この変化に対応し続けることはできません。

当社は、DXを単なる技術導入にとどめず、ビジネスモデルそのものの変革と捉え、お客様と共に新たな価値を創出することを目指してまいりました。この考えのもと、自社の業務変革を推進する「Of-DX」と、お客様の迅速かつ柔軟な変化への対応と持続的な成長を支える「By-DX」という2つのDXに、これまで一貫して取り組んでまいりました。

この歩みをさらに確かなものとするため、組織とナレッジの両面から基盤を強化し、変化のスピードに対応し続けられる体制を整えてきております。具体的には、全社横断のAI推進組織であるAI-TOCを発足させ、AI活用を推進するとともに、組織のノウハウや暗黙知を、生成AIを活用して全社で活用可能なナレッジにしていく取り組みも進めております。

私たちは、こうした取り組みを土台に、お客様と共に未来を切り拓き、新しい価値を創造し続けてまいります。

2026．7．31

デジタルイノベーション推進部長
横尾　朋喜

© 2026 NTT DATA BUSINESS SYSTEMS Corporation

NTTデータビジネスシステムズDX宣言　～ビジョンとビジネスモデル方向性～

「モノづくりを超えた、価値づくり」

『モノづくり』を超えた、『価値づくり』に向けて、社員ひとりひとりの知恵やノウハウを集結し、当社自身のケイパビリティを飛躍的に向上させるOf-DXと、

お客様と一緒になってイノベーションを実現し、新たな価値を創造するBy-DXの２つのDXを武器にし、縦横無尽に世界を変えていきます。

© 2026 NTT DATA BUSINESS SYSTEMS Corporation

NTTデータビジネスシステムズDX宣言　～事業環境認識～

当社を取り巻く事業環境は、これまでにない大きな変化の中にあります。その変化は、非連続かつ不可逆的であり、当社のビジネスに与える影響も大きなものになってきています。

一方で、お客様の事業環境に目を向けると、社会の大きな変化に伴って様々な経営課題が発生しており、その課題解決のため、積極的にデジタル技術を活用していこうとしています。

このような社内外の変化の中で、我々には従来の強みであるシステム構築力やプロジェクトマネジメント力だけでなく、お客様と一緒になって経営課題を抽出し、社会やステークホルダーを動かして実現する高度な課題解決力が求められています。

事業環境の変化

新しいテクノロジーの台頭

生成AIなどの新しいテクノロジの出現により、従来のビジネスとは違う、新たなビジネスモデルを構築する必要性

顧客ニーズの多様化・複雑化

社会の変化スピードが増し、より迅速なサービス提供や柔軟性が要求される中、アジャイル開発やデザイン思考など、新しいアプローチへ変革していく必要性

新規プレーヤ参入による競争の激化

テクノロジー企業やスタートアップなどの新興プレーヤが増えるだけでなく、顧客企業も新たなディスラプターに変化

お客様の事業環境変化

DX・AI変革（AX）への取組意欲増加

事業環境の変化に対する新たな優位性の獲得、労働人口減少に対応するための労働生産性の向上、GX・サステナビリティといった社会課題の解決など、多様な経営課題を解決する手段として、デジタル技術を活用した業務改革・新たな事業創出（Digital Transformation：DX）、およびAIを前提とした変革（AI Transformation：AX）への取組意欲の高まり

当社の強み

絶対的な品質力

製品やサービスの品質を追求し、妥協せずに最高水準の品質を提供する能力

高度なPM力

複雑なプロジェクトを効果的に計画、実行し、成功に導く能力

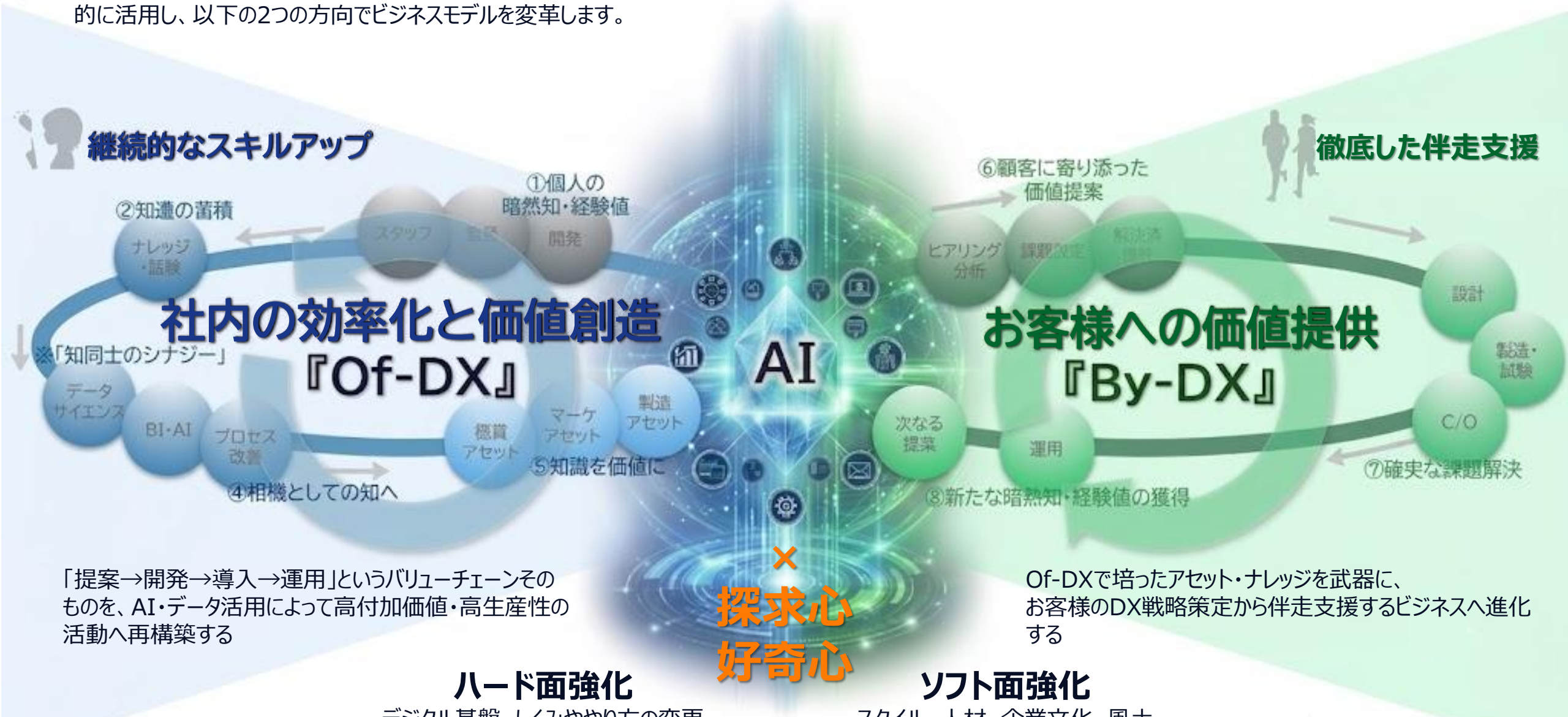
ゆるぎないSI力

システムを効果的に統合し、顧客のニーズに合ったソリューションを提供する能力

© 2026 NTT DATA BUSINESS SYSTEMS Corporation

DX戦略　～AI で貫くOf-DX × By-DX～

事業環境認識のもと、当社は、当社が保有するプロジェクト実績データ・顧客業務ナレッジ・技術資産を、AI・データ分析基盤・クラウド共通基盤で組織横断的に活用し、以下の2つの方向でビジネスモデルを変革します。



「提案→開発→導入→運用」というバリューチェーンそのものを、AI・データ活用によって高付加価値・高生産性の活動へ再構築する

Of-DXで培ったアセット・ナレッジを武器に、お客様のDX戦略策定から伴走支援するビジネスへ進化する

ハード面強化
デジタル基盤、しくみややり方の変更

ソフト面強化
スタイル、人材、企業文化、風土

データ活用の具体策　～ナレッジ基盤による組織知の変換～

当社は、社員一人ひとりが業務で得た知見・ノウハウを、社内ナレッジ基盤（NBS-OS／DWP）にデジタル資産として体系的に蓄積・活用することで、Of-DX（社内の効率化と価値創造）とBy-DX（価値の提供）の両輪を実現します。

属人的な知見・ノウハウをナレッジとして蓄積

個人やチーム内にとどまっていた過去プロジェクトの提案書・設計書・レビュー記録・課題管理情報などを、社内ナレッジ基盤『NBS-OS』『DWP』にデジタル資産として体系的に蓄積・管理していきます。

蓄積したナレッジを組み合わせ、価値の源泉となるものを『アセット』として蓄積・管理していきます。

生成AIによる組織知化と業務効率化を実現

蓄積したナレッジ・アセットに対し、生成AIによる類似案件検索や提案書ドラフトの自動生成の仕組みを構築します。

これにより、属人的な営業ノウハウの組織知化、若手社員の早期戦力化、提案リードタイム短縮を実現し、業務効率化と組織パフォーマンスの最大化を図ります。

他社に負けない優位性の確立へ

アセットを活用した業務改革による圧倒的な効率化や、組織間コラボレーション活性化による組織パフォーマンスの最大化など、他社に負けない優位性を確立していきます。

当社ケイパビリティの最大化

- 業務効率化
- 組織間コラボレーション活性化

ナレッジを価値に変換する仕組みづくり

- アセットの蓄積
- ナレッジの蓄積
- 活用文化の醸成

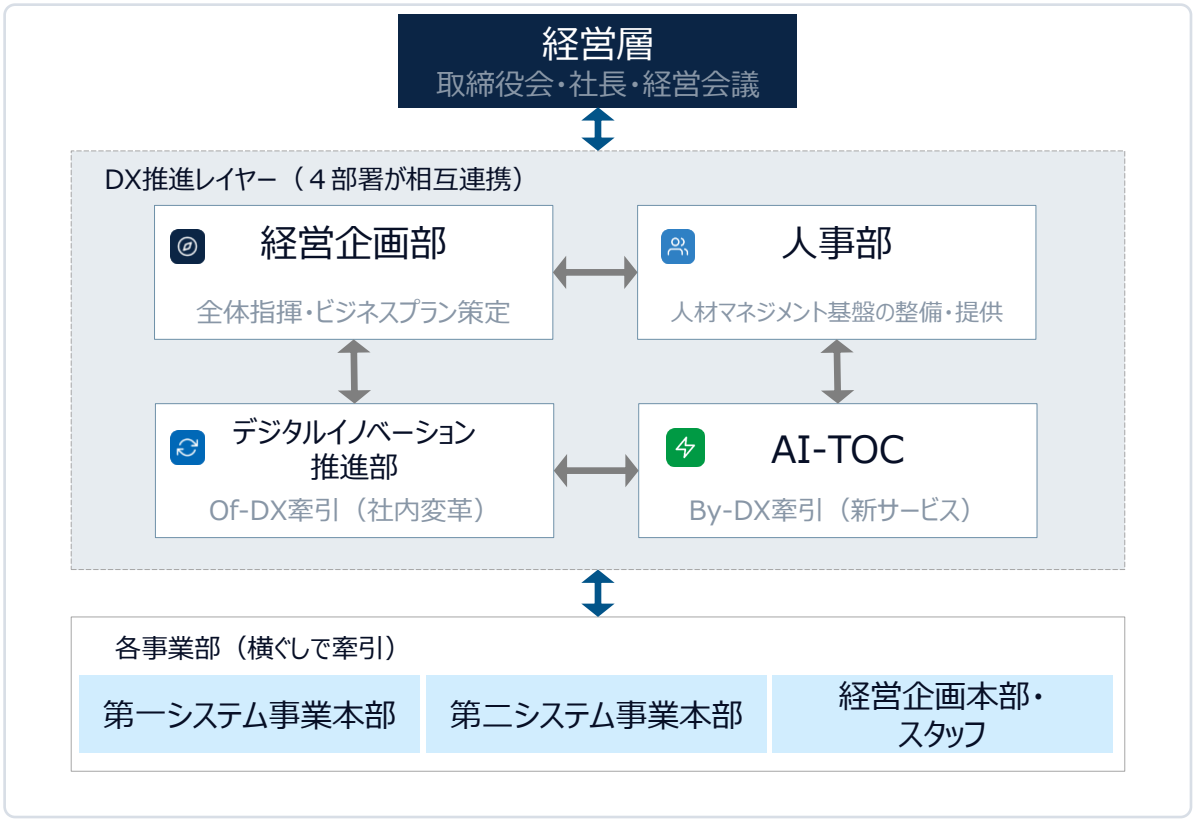
Of-DXで培ったアセット・ナレッジ　→　By-DX（価値の提供）へ

© 2026 NTT DATA BUSINESS SYSTEMS Corporation

DX戦略を実現するための推進体制

当社は、経営企画部・デジタルイノベーション推進部・AI-TOC・人事部の4部署が相互に連携し、各事業部を横断的に見ながら、全社のDX戦略の実現を推進しています。DXを担う人材は、人事部が提供する人材マネジメント基盤のもと、各事業部での実践を通じて育成しています。

当社DX推進体制



推進体制整備の変遷

2022年7月 「デジタルイノベーション推進室」を設立

↓

2025年7月 「デジタルイノベーション推進部」へ改組し、全社DX戦略の実現を牽引

↓

2026年4月 「AI-TOC」を設置し、AI時代の新たな市場へ早く柔軟に対応

© 2026 NTT DATA BUSINESS SYSTEMS Corporation

DX戦略を実現するための人材育成・確保方針

DX戦略の実現には、デジタル技術に加え、業務やビジネスを変革できる人材が不可欠です。
当社では、人事部による人材マネジメント基盤の整備と、各事業部での実践を通じた育成を組み合わせ、DX人材の育成・確保を推進しています。
また、採用による確保に加え、育成基盤と実践機会を通じた社内育成により、DX戦略を支える人材を継続的に確保していきます。

支える｜人事部

人材マネジメント基盤の提供
Talent Management Platform

Talent Development
- キャリアデザイン
- 目標設定・プロフィール管理
- 1on1の仕組み

Learning
- AI・ビジネスリテラシー研修
- AI Playgroundを活用した実践的学習
- グループ内研修／外部教育
- デジタルスキル標準（DSS）活用

新人や全社共通的な研修は人事部

制度・学習機会の提供

育てる｜各事業部（育成の主体）

事業活動を通じた育成
Business Driven Experience

実践の場	育成の手段
【Of-DX】 • 生成AIの活用 • ナレッジ・アセット蓄積 • 業務改善活動 【By-DX】 • DX案件への参画 • 顧客との共創プロジェクト	• OJTによる指導 • 1on1による対話 • 目標管理による振り返り • 実践を通じたスキル向上

各専門性に応じた育成は、業務の現場である各事業部

業務を通じた成長

育つ｜人材

DX人材 （DX戦略を実現する人材）

- **デジタルスキル**
- **ビジネス・マネジメントスキル**
- **主体的なキャリア形成**（探求心・好奇心）

経営戦略・DX戦略の実現に貢献

Talent Management Cycle
制度と実践の循環

人事部　事業部

キャリアデザイン → 育成計画 → Learning（研修・自己学習） → 業務で実践 → 1on1・目標管理（振り返り・評価） → 育成計画の見直し → 継続的な成長

評価・振り返りの結果を、次の育成計画へ反映（継続的な見直し）

© 2026 NTT DATA BUSINESS SYSTEMS Corporation

ITシステム環境整備

DX戦略推進の基盤として、以下のIT環境整備を進めています。

AI基盤（AI Playground）の整備

社員が安全に生成AIを業務活用できる環境として「AI Playground」を整備。Azure OpenAI Serviceを基盤とし、社内データと生成AIを連携させた業務効率化ツールの開発・検証を推進しています。

AIガバナンス向上策

利用ガイドラインを策定
社内研修
社内発信

ナレッジ基盤の整備（DWP／NBS-OS）

社内ナレッジ・アセットを一元管理する基盤を整備。点在する知見を「ナレッジ」として蓄積し、組み合わせて「アセット」として活用する仕組みを構築しています。

レガシーシステム対応（GAIA導入）

社内基幹システムのクラウド移行を計画的に推進。2026年度にGAIA（新統合基幹システム）を導入し、レガシーからの脱却とデータドリブン経営の基盤強化を進めています。

NTTデータグループ共通基盤の活用

クラウド基盤・セキュリティ基盤・ネットワーク基盤を活用し、安全で効率的な運用環境を実現しています。

クラウド基盤

セキュリティ基盤

ネットワーク基盤

© 2026 NTT DATA BUSINESS SYSTEMS Corporation

DX戦略の達成度を測る指標

DX戦略の実現に向けた進捗評価として、以下３項目をKPIとして管理していきます。

① 新規オファリングの提案件数

By-DX（顧客価値提供）の成果を測る指標

顧客の経営課題や社会課題を効果的に解決するため、アセットを活用した新規オファリングビジネスの提案件数をカウントしていきます。

目標値（FY26）

FY25比　1.6倍

② Of-DX 生産性25%向上

Of-DX（社内変革）の成果を測る指標

AIを活用して業務改革を進めることで、業務プロセスの生産性向上を実現します。さらに、業務改革を通じて得られたナレッジを組織内に展開することで、全社的な生産性向上につなげていきます。

目標値（FY28）

FY25比　25%向上

③ 人材育成計画の実施率

DX戦略推進を支える人材基盤の進捗指標

デジタルスキル標準（DSS）を活用し、社員一人ひとりのスキルアップ計画を、社員自身が上長と認識あわせのうえ策定します。計画に基づく育成の実施状況を測定していきます。

目標値（FY26）

策定・着手率　100%
実施率　60%以上

DX戦略｜AIで貫くOf-DX × By-DX → ① 顧客への価値提供の成果 / ② 社内変革・生産性の成果 / ③ 両者を支える人材基盤

© 2026 NTT DATA BUSINESS SYSTEMS Corporation

サイバーセキュリティ対策

セキュリティ基本方針

当社は、NTTデータグループのセキュリティポリシーに準拠し、情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）に基づく体系的なセキュリティ管理を実施しています。

ISMS準拠
情報セキュリティマネジメントシステムに基づく体系的なセキュリティ管理

プライバシーマーク保有
第11820658号を保有し、個人情報保護に万全を期しています

管理体制

セキュリティ最高責任者を経営層に設置
全社的なセキュリティ管理を統括

▼

業務推進部
セキュリティ施策の実行・モニタリングを担当

▼

重大インシデント対応
発生時のエスカレーションルートを整備

© 2026 NTT DATA BUSINESS SYSTEMS Corporation

参考）用語の定義

用語	指すもの（粒度）	使う場面
AX（AI Transformation）	経営・変革レベルの「取り組み／方向性」	DXと並べて戦略・変革を語るとき
生成AI	文章・画像等を生成する**特定の技術**（ツール実体）	具体的な仕組み・活用手段を指すとき
AI	技術の**総称**（機械学習・データ分析含む広義）	上2つに当てはまらない一般的な言及

© 2026 NTT DATA BUSINESS SYSTEMS Corporation

NTT DATA